

令和7年度 大町LMO 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

・ 設立初年度のため、地域での認知度を高めた。
・ 地域課題のうち、一番深刻なにぎわいの創出を解決するため、大町（仮）フェスで実施した“ゆるキャラ” コンテスト最優秀のゆるキャラ関連グッズを作成し各種イベント参加者等へ配布し来年度実施へ繋げた。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	地域への愛着を育むゆるキャラ活用事業	(4) 事業中(1) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 2 月 9 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日	
(2) 実施場所	大町集会所	
(3) 参加者数	800 人	
(4) 主催団体	団体名 大町LMO	
4 取組内容	大町LMOのシンボルとなるマスコットのゆるキャラ“おーちゃん”のグッズ（ぷくぷくシール・クリアファイル）を地域在住のフリーデザイナーが、おーちゃんの絵より動きのあるデザインに仕上げ・発注をし、大町小学校に通う全校児童へ配布の準備を行った。令和8年3月に卒業した児童へも、配布することで、子どもたちから幅広い年代層に紹介することができた。PTAの協力において【ゆるキャラ授賞式】を執り行うことができ、最優秀賞、2～5位までの作品も併せて表彰した。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	ゆるキャラ【おーちゃん】をきっかけに、大町在住の皆さんに少しでも大町LMOの認知度を高めていくことが目的である。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	大町のシンボルとなるマスコットのグッズを制作したことで、大町LMOの認知度を高めるきっかけとなり、子どもたちにお披露目できたことで、さらにゆるキャラ【おーちゃん】と大町LMOの認知度を高める機会になった。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	広報活動	(4) 事業中(2) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 2 月 9 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日	
(2) 実施場所	大町集会所	
(3) 参加者数	12,000 人	
(4) 主催団体	団体名 大町LMO	
4 取組内容	こむねっとひろしまの大町学区ホームページによる広報活動に対して、次年度も継続事業として大町LMO事務局が中心的な役割を担うようにするために、リニューアルを企画・協議をする。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	こむねっとひろしまの大町学区ホームページを長年保守されてきた大町パソコンや地域団体の負担を大町LMO事務局が関与することにより軽減を図る。また、各団体等からの情報発信依頼の事務手続きフローを作成するとともに、インスタ等のSNSを活用し発信力の強化を図る。次年度も継続事業とする。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	新鮮で維持管理された情報を住民が受け取りやすい形で提供することにより、各団体が実施するイベントへの参加率の向上が図ることができた。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	交流カフェ	(4) 事業中 (3) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 2 月 9 日 ~ 令和 8 年 3 月 31 日	
(2) 実施場所	大町集会所	
(3) 参加者数	67 人	
(4) 主催団体	団体名 大町LMO、大町学区社会福祉協議会、いちごミルク	
4 取組内容	高齢単身者からの気軽に集える場所がないとの声を受け、従前から大町学区社会福祉協議会が実施してきた交流カフェを引き継ぎ事業とした。毎週水・金曜日、10:00~12:00 と 2 時間開放して実施した。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。) (1) 目的 高齢単身者が地域から孤立することを防ぐとともに、外に出かけるきっかけ作り、人と出会い会話することで、日常の生活を豊かにすることが目的。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 地域の高齢者特に単身高齢者にとって、気の向いた時に集いの場へ出向く事で、ウォーキングによる軽運動と人に会う事で認知症予防及びフレイル予防の効果が見られた。 次年度も継続事業として計画する。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	健康教室	(4) 事業中 (4) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 2 月 9 日 ~ 令和 8 年 3 月 31 日	
(2) 実施場所	大町集会所、富士団地集会所、五軒屋集会所、リガーレ	
(3) 参加者数	354 人	
(4) 主催団体	団体名 大町LMO、大町学区社会福祉協議会	
4 取組内容	学区の4箇所では運動教室が実施されているが、令和7年度としては、年度当初に学区社協が補助支援しているため、大町LMOとしての事業支援はせず、令和8年度へ継続事業として引き継ぎを行った。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。) (1) 目的 運動不足になりがちな高齢者や話相手のいない単身高齢者が、口コミで健康教室情報を手に入れ勇気を出して参加したいと会場にお越しいただいても満員で断る場合が多く、他の会場の様子も把握できず機会損失となっている。このため大町LMOが主体となって全体管理することによって高齢者参加を増やす。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） イベント参加者同士のつながりを増やすとともに、より多くの高齢者の健康が増進された。また、イベントへの参加を通じ交流は大町フェスや交流カフェ事業の参加にもつながった。	